

テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 1
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

令和2年 **1**月の**優しさ**通信

(1) 高齢者施設の虐待最多 2018年度 621件

被害、8割超が認知症

*介護施設の職員による高齢者への虐待行為が2018年度に621件で、過去最多。

- ・2017年度（510件）から21.8%増加。
- ・被害者は認知症の人が85%。
- ・件数は12年連続で増加。

*家族や親族らによる虐待も過去最多となる17,249件。

*施設職員による621件の虐待の被害者は927人。

*虐待の種類は、身体的虐待が57.5%で最多。心理的虐待が27.1%、介護放棄が19.2%。

- ・経済的虐待（5.8%）、性的虐待（5.4%）も。

（2019年12月25日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

(2) 民間企業勤務 障がい者 56万人 2019年6月時点

*2019年6月1日時点での民間企業で働く障がい者は560,608人。

- ・前年比4.8%増で、過去最多を更新。

*従業員に占める障がい者の雇用率は2.11%となり、過去最高。

*一定割合の障がい者を雇うよう義務付ける法定雇用率（企業は2.2%、国と自治体は2.5%）は、依然として未達。

*国の機関で働く障がい者は7,577人。雇用率は2.31%。

*企業で働く身体障がい者は354,134人（前年比2.3%増）、知的障がい者は128,383人（同6.0%増）、精神障がい者は78,091人（同15.9%増）。

（2019年12月26日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）



テーマは「優しさ」 福祉について考えます。 優しさ通信NO. 2
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。



今月の福祉用具－高齢者の衣服

衛生的特徴と衣服の着用

*高齢になると生理機能が衰えてきます。暑さに対しては比較的強いですが、産熱量が少ないので寒さに弱くなります。このため保温性の高い衣服が必要になってきます。

*加齢とともに皮脂や汗の分泌が低下するので、老人性皮膚乾燥症などが起こってきます。

・直接肌に触れるものは、なるべく木綿など皮膚に対して優しい素材、アレルギー源とならない素材を使用します。

*皮膚感覚が衰えている場合、高齢者本人がかゆみなどに対して訴えない場合があります。

・蒸れやシワが原因となり、短期間で褥瘡ができてしまうので注意が必要です。

*布おむつ、肌着などが感染症の媒体となります。

運動機能の低下と安全な衣服

*前かがみの姿勢の人に対しては、足元が衣服で隠れることのないように短めの丈にし、必要以上のゆとり量が足元の視界を邪魔しないように、ウエストの部分にベルトを締めることも大切です。

*袖ぐりは大きく着やすいことが大切ですが、袖通しが困難だからと大きいサイズのものを着用すると袖口まで広く、家具にひっかかったり、ガスコンロの火が燃え移ったり、危険な面が考えられます。

*ズボンのウエストのゴムが窮屈だとはきにくいのでゆるくする場合がありますが、ゆるくしすぎてひきずるケースも少なくありません。裾につまずいて転倒することも多々ありますので、ウエストはある程度の弾力性を持たせてはくことが大切です。

*サイズの合わない靴やスリッパ、サンダルは転びやすいので避けたいものです。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)

